

## 眠れる者たちに「復讐をもって」現れてくるもの

Greatchain  
2020/09/15

例によって、NeonNettle 記事をいくつかつなげる方法で、一つの記事を書いてみようと思う。まず、米司法長官ウィリアム・バーは、こんなことを言っている (Sep. 14, 2020) :

**バーが左翼メディアに火をつける：彼らは基本的に「ウソつきの集団だ」  
米司法長官いわく、主流新聞は「誠実さをもたない」**



「彼らはウソつきどもの集まりであり、自分たちが何をしているか知っている。その完全な例が暴徒たちだった」と、バーは言った

司法長官ウィリアム・バーは、リベラルの主流メディアに狙いを定め、**彼らはアメリカにとって強力な腐食剤だ**と言い、その産業の大多数はウソつきだ、と述べた。

「何が行われているのか、まさに道路上でそれは明白だった。この暴動を見ていた人々には、記者でも誰にでもわかった。これが街路闘争をする過激派の、強化された集団による、統制された暴力であることは、誰の目をもごまかせないものだった。そして彼らは、そのすべてのビデオ報道を省略し続け、別の報道をしていた。彼らがそうしたのは、彼らが同じ仲間であるからだ。彼らはアメリカ国民を騙そうとしていたのだ」と、バーは言った。

「このウソが明らかになって何週間もしてから、やっと彼らは、ほんのわずかに、大胆になり始めたようだ。」

この司法長官の証言は明快である。ものはこういう風に言わねばならない。彼の糾弾は、同じように、重要な報道をほとんど省略している、わが国のメディアにも適用される。何も言わなければ、何も影響が生じないと考えるのは、間違いである。これは無神論を貫けば、それは中立で無色なのだから、何の責任も問われないうのと同じ迷妄である。我が国の新聞やテレビは、やがて厳しく糾弾され、「ウソつき」として、国民に謝罪しなければならなくなるだろう。彼らは「国民にとって強力な腐食剤」だ。やがて、アメリカと同じように腐敗・消滅するだろう。

### 主導的な聖職者が公衆に警告：民主党は「悪と結んでいる」

#### Frank Pavone 神父が、彼のトランプ大統領支持を、批判する者たちに反論

ローマ・カトリックの聖職者フランク・パヴォーンは、公衆に警告し、民主党は「悪と契約を結んでいる」と言った。

この神父は、トランプ大統領をはっきりと支持していることを、カトリック聖職者にふさわしくないと行って、批判されていた。

最近のインタビューで、パヴォーンは、民主党はそれほど攻撃的に反カトリックではないのだから、彼が発言する必要はないと言っていた。

しかし、彼はいま、この党が全体として「悪と結んでいる」ことが明かで、もはや黙っていることができないと言っている。

この神父の言っていることは、よく理解できる。民主党が全体として、「悪と契約を結んでいる」というのは、比喩でなく現実であろう。軽薄な者たちはおそらく、この言い方を理解できないだろう。「悪と契約」とは何だ？ そもそも「悪」とは何だ？ どうやって悪を定義するのだ？ 「そんなものは、権力者が民衆を支配するために、巧妙に民衆を騙す虚構ではないか？」と、昔の共産党のようなことを言うだろう。そしてこれは、まさに現在の民主党を説明するものでもある。

今、「悪」も「悪との契約」も、それがどういうものであるか、はっきり説明することができる。したがって、それと戦うにはどうすればよいか、歴史的に明らかになってきた。「悪」は比喩でも虚構でもなく、実体である。

シェール：トランプは「承知の上で」人々を殺している、「その罰は死だ」  
リベラルのポップ・スターが根拠のない主張をぶちまける



極左リベラルのポップ・スター、シェールが、ツイッターを利用してトランプ大統領を攻撃し、彼を「集団殺人者」と呼び、罰として死を与えよと言った。

この常識外れのスターは、過去にも、同じような根拠のない主張をしている。

「誰かを殺すには理由があるからだ。…それは「殺人」と呼ばれる。もしあなたが一人以上の人間を殺せば、あなたは集団殺人者だ。殺人の異なった程度に対し、多くの刑罰がある。しかし、誰かが〈承知の上で〉人々を殺すときは、刑罰は死だ。トランプは集団殺人者だ。」…これは、中国から発したコロナウィルス・パンデミックへの、トランプの反応のことを言っているようだった。

ここで使われている「極左リベラル」という言葉が問題である。この同じ言葉が、ジョージ・ソロスについても使われていた。民主党下院議長ナンシー・ペロシについても使われるだろう。だから、ポップ歌手シェールが、キチガイじみているからと言って、話にならないと無視するのは間違っている。いかにも彼女は、ちょっと異常な顔つきをしている。しかし、これは「極左リベラル」と言われる人種の、正常状態と考えるべきである。

そもそも、「リベラル」と呼ばれる党派の概念が、昔とは変わってきた。かつてそれは「保守」の反対の、穏やかな、革新の意味に使われていたと思う。今、それは（神という言葉こそ使わないが、暗黙の裡に）「神に反抗する」「神に敵対する」という意味へと、ずれてきた。もっと、あからさまに言えば、それは「サタン主義の」「サタン信仰者の」という意味になる。「極左」をつけることで、それは決定的になる。

現在の多くの、メディアのみならず、知事クラスを含む人々の、とうてい正常とは思えない暴動や内戦と、そのサポートは、そのような深い動機をもつものと考えらるべきである。これは明らかに**善と悪が対峙する、宗教戦争**である。それが深層意識で行われているために、自分でも気が付かないことがあるだろう。特にわが国では、**神もサタンも、禁止語あるいは麁語**になっているため、ほとんど気づかないが、深層意識ではそれが歴然と存在している。そして今それが「復讐をもって」(with a vengeance) 現れてきつつある。

——以上